

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名：「さきゅばす」ユーバーピュア！」

テーマ：「サキュバスなのに、初心な美少女」

キャラクター

60

ストーリー

50

テーマ(設定)

60

文章力

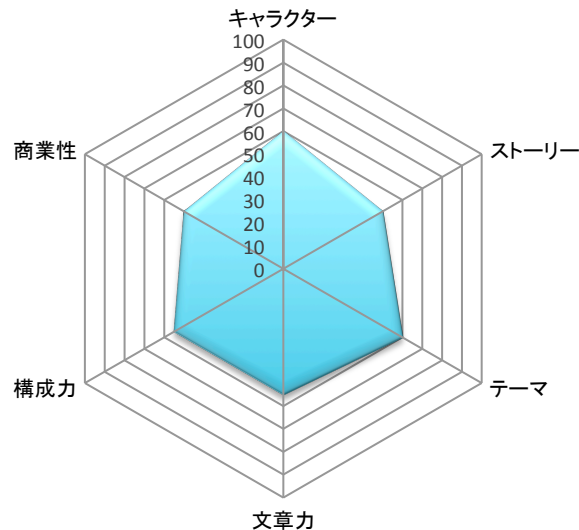
55

構成力

55

商業性

50



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語が都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がりに欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ！」というものがない

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

「一」や「…」は2個セットでの使用が推奨されている。
 ・ミグのキャラクター設定がサキュバスなのに少し初心と分かり易くギャップを効かせている点は非常にうまいと感じた。しかし精気やエロゲといったワードを出していきながらかなり全体的に平凡なテイストとなってしまうので、もっとギリギリの下ネタで読んでいる側を笑わせにくる工夫が欲しかった。いっそのこと女性読者のことは考えず、かつただ汚い下ネタではなく美える下ネタが欲しい。
 ・上記に関して言えば、例えばミグが自分の意思とは関係無しに本能的にエロいと思われる行為をしてしまうなど(男性のあの現象のような)。そうすることで「うぶだけれどもそういうことしちゃったりやっぱりサキュバスなんだ」と思わせると同時に、ミグに「これは違うんです！ 私の意思ではないんです！」的なことを言わせておけばより初心さ(?)の演出になったのではないかな？
 ・一つ一つの下ネタは非常に面白かった。サキュバスの帝国が群馬県にあるなどは個人的に笑ってしまいました。精神の入れ替わりなど、作られたキャラクターをより引き立てるためのストーリーがちゃんと考えられている点は非常に好印象であった。

合計加点ポイント 0

総得点： 330 / 600

B方式総合得点： 18150 点